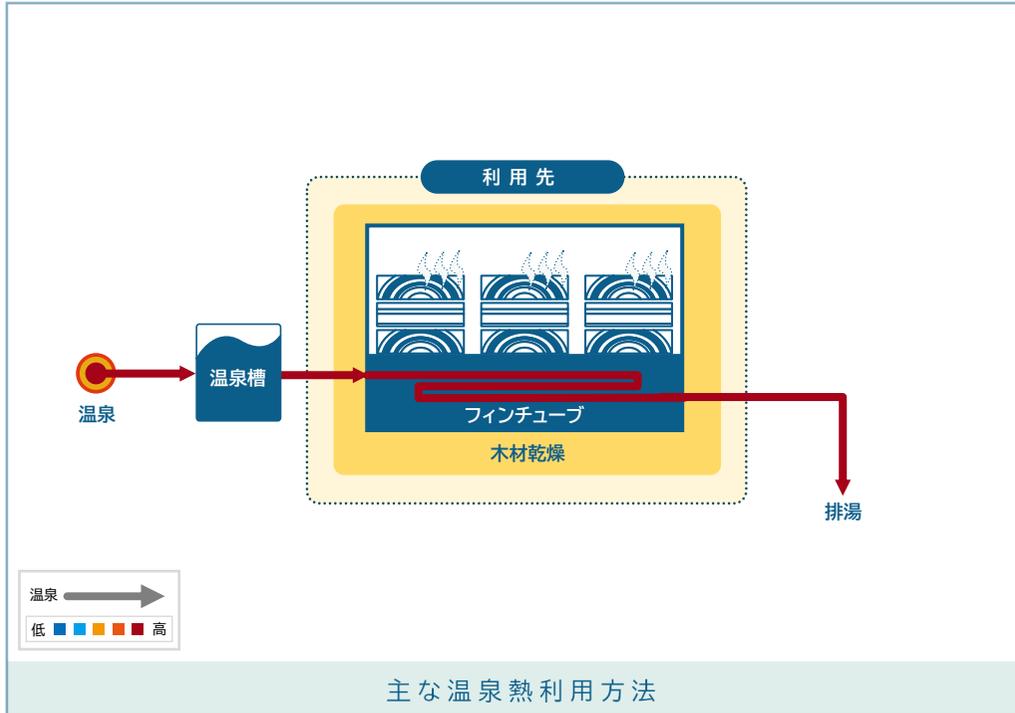


概要

温泉を活用した木材乾燥を行っている。温泉噴気を乾燥用施設の配管に送り、室温を50～60℃に上げることで木材を乾燥させる。地域の製材所へ貸し出し良質な木材を提供することを目的とし、小国町で乾燥される木材の2～3割が当該施設を利用している。なお配管には、フィンチューブを採用することで蒸気熱放熱の効率を高めている。



泉質	塩化物泉	CO ₂ 排出量削減効果	ランニングコスト削減効果
熱利用温度	-	2 t-CO ₂ /回相当	4,400 円/回相当
利用温泉	既存温泉	削減 ※1	削減 ※1
総事業費	4,000万円（一部補助金あり）		



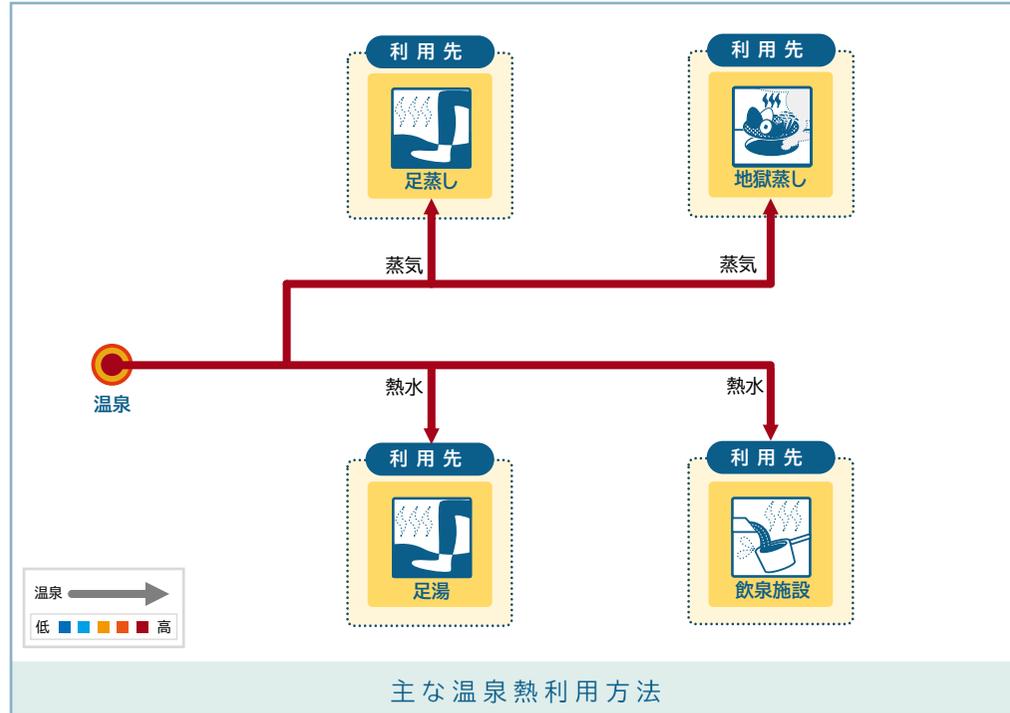
※ 本事例は「平成29年度・30年度温泉熱等の有効活用等普及促進調査等委託業務」にて調査・整理した事例であり、掲載情報は調査当時のものであることから、詳細な状況は変更されている可能性があります。
 ※ 1: CO₂排出量削減効果、ランニングコスト削減効果は、ヒアリング結果を基に算出した推定値(本施設の1回の木材乾燥に必要な熱量を想定、重油使用量に換算した場合の効果)です。

概要

約100℃の温泉噴気を利用して、地元食材等を調理する「地獄蒸し※」を提供している（※古くから鉄輪地区に伝わる調理方法で、温泉の蒸気で食材を蒸し上げる）。また周囲には、目で温泉を楽しめる温泉の滝のモニュメントや温泉を飲むことができる飲泉場や足蒸し・足湯などさまざまな方法で温泉が楽しめるよう工夫されている。



泉質	塩化物泉	CO ₂ 排出量削減効果	ランニングコスト削減効果
熱利用温度	-	2 t-CO ₂ /回相当	4,400 円/回相当
利用温泉	既存温泉	削減 ※1	削減 ※1
総事業費	2億6,340万円（一部補助金あり）		



※ 本事例は「平成29年度・30年度温泉熱等の有効活用等普及促進調査等委託業務」にて調査・整理した事例であり、掲載情報は調査当時のものであることから、詳細な状況は変更されている可能性があります。
 ※ ランニングコストが不明のため、CO₂排出量削減効果、ランニングコスト削減効果は算出しておりません。